

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立育英幼稚園
所在地	台東区浅草橋2-26-5

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「大好き！浅草橋（地域理解）」

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など）

台東区にはお茶や生け花など、日本の伝統文化を伝える先生が多く在住している。また、浅草橋には人形、玩具、花火等の専門店が多く、手芸品やアクセサリパーツ等の店が増えて、ものづくりの街としての特色もある。これらの人材や特色を生かした活動を取り入れることで、子供たちが日本の文化や地域のよさを知り、地域に愛着をもつ幼児を育てていきたいと考え、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

6月、11月、2月 お茶会（4、5歳児）

11月 手芸体験（全園児）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

落ち着いてお茶を味わえる場

季節の花や掛け軸

自分なりの工夫ができる手芸材料

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・お茶の先生を講師としてお招きし、年3回お茶会を行う。年長児は、後半2回はお茶を点てる体験をし、友達同士で振る舞い合う。お茶や菓子を味わったり、季節の話をしたりしてお茶会の雰囲気を楽しむ。
- ・近隣の手芸材料店と連携し、和紙をちぎって作るキーホルダー作りをした。学年に応じて色数を増やし、自分なりに工夫できるようにした。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・お茶会では、回数を重ねるごとにお茶の味を気に入る幼児が増えた。特別な場で実際に食べたり飲んだりする楽しさを味わいながら、先生とお茶や道具、季節の花などについて会話をすることも楽しんだ。年長児は自分で点てたことで道具の形や道具の使い方にも興味をもっていた。好きな遊びの場面で茶筌やお茶の入った茶碗を作る姿もあり、様々な形でお茶会を楽しんでいた。
- ・手芸体験では、和紙の重ね方を工夫し、一人一人違うすてきなキーホルダーができた。勤労感謝の日の保護者へのプレゼントにしたため、作ったもので相手が喜んでくれるうれしさも味わうことができた。

<活動の様子>



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・あたたかい雰囲気の中でお茶会に参加できるようにしたことで、初めて参加する4歳児も安心して楽しむことができた。講師の先生によりお茶を用意していただいたことで、飲みやすく、「おいしかった」「楽しかった」と感じる幼児が多かった。体験を通して、日本文化のよさを感じることができた。
- ・手芸体験では、園で使ったことのない新しい素材との出会いの場になった。色を選べるようにしたことで同色系で重ねる、反対色でくっきりとさせるなど、一人一人が工夫することができ、作る喜びや満足感を味わうことができた。

以上